

白井市産業振興ネットワーク 第Ⅳ期（平成 31 年度～令和 2 年度）

産業振興ビジョンについての主な委員意見（※敬称略）

平成 31 年度

第 1 回（令和元年 7 月 2 日）【概要：主に策定目的と策定スケジュールについて】

委員 A：行っていることは 1 枚でまとめること。それでないと委員として判断は難しい。一つ一つ丁寧にまとめたものは美しいが 2 年というスケジュールでは無理がある。期間は 2 年で作るべきであり 2 年で実現可能なものにすべき。そしてそのためには情報を整理する必要がある。

委員 B：行っていることは 1 枚でまとめること（その後第 2 回会議にて作成）。会議が少ないなら必要に応じ臨時会議を行ってもいい。期間は 2 年で作るべきであり大事なものはスピード感。サポートは可能な限り行うので必要なことがあれば言ってほしい。

委員 C：本会議では産業分野に関わる総合的な議論を行い、その結果を実績としてまとめていきたい。任期が 2 年ということから考えると一つの区切りとしてやはり 2 年でつくりたい。事前に行うべき作業などがあれば提示してもらって構わない。

委員 D：総合計画の体系図には産業振興計画のことが記載されているため急いでつくるべき。3 年で作るとのことだが委員の任期が 2 年なのだから 2 年で行うべき。

委員 E：策定に 3 年はかかりすぎであり、委員任期も 2 年であるためそれは合わせるべき。しかしスケジュールはかなりタイトである。

第 2 回（令和元年 10 月 28 日）【概要：主に基礎資料による白井市の産業の現状と課題について】

委員 A：まとめていただいた資料の意味がわからない。重点を置いているのは何か。行っていることとしないことを書いていただけないと判断ができない。商工業の活性化とは何がどうなったら活性化なのか。ゴールが見えない。市としてこういうことを考えている・これはわからないからネットワーク会議に相談したいというものがほしい。スケジュールが遅れてもいいものをつくるべきなのかそれとも他計画と関連するからスケジュールを最優先とすべきなのか。今回他市の事例を送ってきたがなぜここを選んだのか。これを見て何をしてほしいのかも加えてほしかった。時間に対するコスト意識をもってほしい。会議日程は最初にすべて決められないのか。

委員 C：数値目標的なものは多くのものを挙げる必要はないが重点的な項目では絶対に必要。少なくとも市場を連携した形は示すべき。他の地域をみるのも大切だがやはり

隣接してる地域との比較が大切ではないか。プレミアム商品券事業の報告を受けたがこれで何を議論し決議するのか。アイデアを求めるものなのか。

委員 B：やはりスケジュールが心配。もっと余裕を持たせないといけない。資料を出すなら要点はまとめなければ。他市の事例では人口的に大きなところを見ているが身の丈にあった計画を参考とするのがいい。今回市で行っていることを1枚にまとめたものを作成した。行っている事業から考えると柱は3本と考えられる、企業の利益を上げる・商業販売を上げる・農業所得を向上させる。他の地域での成功事例(ベストプラクティス)からやるべきことを探せそう。今後アンケートを行うとしているがその質問内容は見えてないのでまとめる際は留意してほしい。

委員 E：農家の人口減、耕作放棄地が問題。農家だけでなく商工の力も必要。

委員 F：他市の事例は割と近隣であったが他の地域も見べきなのでは。骨子については今日あまり触れられなかったので決定していないということでしょうか。

委員 G：予算の関係もあると思うが弊行にもこういった計画の策定をサポートできる部隊があるので検討してほしい。

委員 H：農地再編の計画を進めようとアンケートをとっているのでこの計画に使えるかもしれない。

委員 I：毎回説明が長く意見交換の時間が少なくなってしまう。

委員 E：一般的には計画をつくる際には、諮問され原案をつくって市に返すパターンであるが現状では市(事務局)がつくったものに対して意見を言える会議となっている。

第3回(令和2年2月5日)【概要：主に産業振興ビジョンとその構成について】

委員 D：後期基本計画と関連性をもたせないといけない。上位計画でも市をPRしようとなっており、そこから考えるとやはり観光ではないか。推進体制と関係者(市・各団体・市民・その他)の役割をきっちり記載しておくこと。推進体制はこのネットワークが中心となると考えられる。白井は市として小さい(コンパクト)、足りないのは駅前の産業。交通網の駅前への集約(バス)かつ市の産業の中心である工業団地と結ぶことが必要。それが市内雇用・外部人材確保につながる。道路の整備も必要。

委員 J：3つの産業以外で京田辺には観光があり事務局がつくったものは外している。現状はなかったとしても4つ目を何か考えてもいいのでは。工業団地のアンケートは回答率が高いが商工会のアンケートは回答率が低い。里山といういいところを残すのはありではないか。公民センターや分校で商業者にも声かけて体験イベントや朝市をやるとか。農業だけでは農家はもう守れないかもしれないので観光などの力は必要。

委員 F：今日観光を入れるか入れないか決めないといけないのか。時間をかけられないのか。インスタ映えスポットがないから誰も駅前に行かない。電車代が高くても行きたい場所があったら人は集まる。

- 委員 B：観光かはわからないが4つ目は自分も必要と考える。工業団地のインフラ整備水準の低さには驚き、これを今後どのようにフォローするか話し合う必要があるのではないか。現状と課題は現在の段階では出せないのでは。市内の暮らし良さをつきつめてアイデアを出していくべき。面白くないから人は集まらない。
- 委員 E：創意として観光は入れる。その結果事業者が出ないなどであれば消さないといけな
いかかもしれない。資料素材が集まってきたら4つ目を検討するという方法もある。
推進体制はいれる。道路・バスなども考えるのであれば総合計画や都市マスとも合
わせて考える必要がある。
- 委員 D：農商工から考えると医療・介護・NPO・観光・学習・子育てなど抜け落ちる産業
もある。それらをくくることができる4つ目はあっていいのではないか。駅前がに
ぎわう施策をこの会議で議題として取り上げるべき。
- 委員 A：事務局案はどこでも使えるラインナップとなっており無難。各分野を横断できるも
のが必要。アンケートの回答率が低いということは市は期待されていない。市内に
行きたい店は少ない。駅前は床屋と歯医者だけ。事業者を持ってこれないのであれ
ばベッドダウンとしての発展の道を考えてもいいのでは。白井は空と道が広くゆ
っくり歩けるところがいい。京田辺は多くの会議とコンサルもいれており、現状の
スケジュールではやはりできるか不安。全体像を示してほしい。進め方も時間を短
縮し品質も上げられる方法を考えてほしい。
- 委員 K：以前は駅前にいろんな店があったが客が来ないからなくなった。電車も新鎌ヶ谷ま
で行き、そこから乗るほうが駐車場も見つけやすいし楽。
- 委員 I：市に期待しないのではなく期待の仕方がわからない。日々の生活で精いっぱい。助
成金も商工会に全部やってもらって助かった。アイデアをもらえかつ申請業務も全
部行ってもらえるとありがたい。
- 委員 H：道路がもっと空けばいい。工業団地に駐車場が必要では。
- 委員 L：白井は商工会の組織率が低い。この会議で共有できていければ。
- 委員 M：観光拠点が必要でありそこにはモータープールが必要。工業団地内に職業訓練校
があれば外部から人がきて工業団地の就職につながるのでは。他地域で退職した
人が市内の複数の農家で働いていければ技術の継承になるのでは。